

都市計画道路 湘南新道〔県道44号(伊勢原藤沢)〕 東真土・西真土工区 街路整備事業

1 事業の目的

都市計画道路 湘南新道は、平塚市四之宮の寒川町境から大磯方面へ至る4車線の主要幹線道路で、平塚市域の東西方向における広域ネットワーク形成や国道1号の交通混雑緩和に寄与する重要な路線です。

当事業箇所は、国道129号の東真土二丁目交差点から西側の県道606号(明石下落合)と交差する中原上宿北側交差点までの延長約1,280m区間について、事業進捗を図るため「東真土工区」と「西真土工区」に分け、現在事業用地の取得を中心に行っています。

事業区間には、埋蔵文化財の存在が知られている土地(埋蔵文化財包蔵地)があるため、まとまった用地が確保できた箇所から埋蔵文化財調査を実施し、その後拡幅工事に着手していきます。

今後も引き続き、地元の皆様のご理解ご協力をいただきながら、用地取得や埋蔵文化財調査及び工事を推進し、早期の供用を目指していきます。

2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 東真土二丁目～西真土一丁目 地内
- 事業延長：L=約1,280m(東真土工区 L=約670m、西真土工区 L=約610m)
- 計画幅員：W=25m(標準部)～W=36m(国道129号交差点付近)
- 供用目標：用地取得及び埋蔵文化財調査の完了後、概ね5年以内の供用を目指します。
(用地取得及び調査の完了後、順次、現道の拡幅工事に着手していきます。)

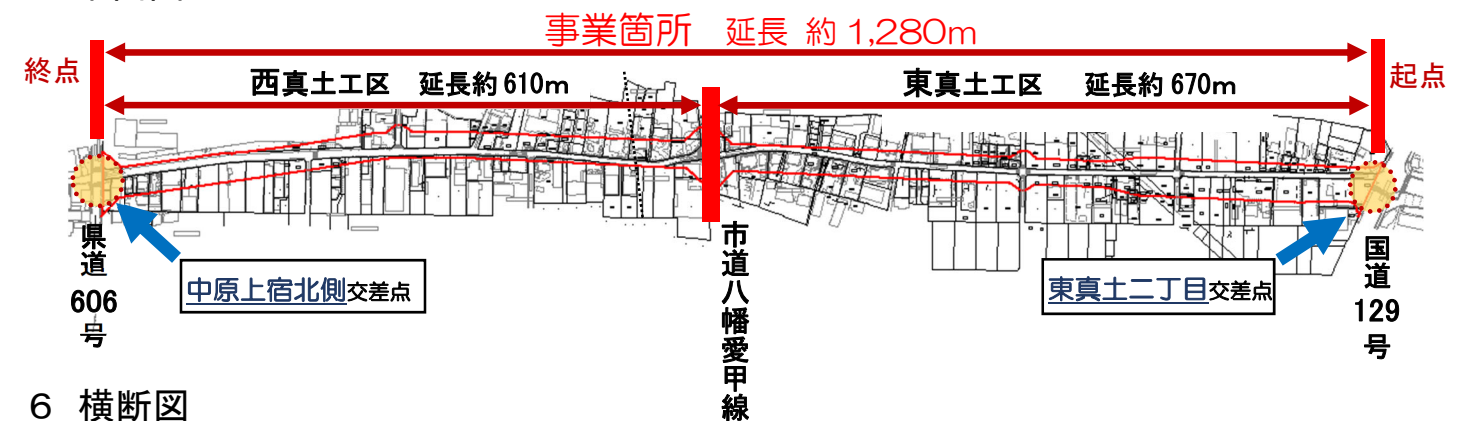
3 写真



4 位置図



5 平面図



6 横断図

